

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	4 フィルム・コミッション活動の推進	② 施策番号	3416
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	4 豊かな地域資源を有効に活かし、さまざまな人々が行き交う観光・交流のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 観光事業の振興		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	産業観光課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉南市観光協会、観光客、市民、周辺地域の住民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	映画やドラマなどの撮影地等の誘致に向けた活動(フィルムコミッション活動)を展開し、市の魅力を向上させ、併せて市の認知度の向上を目指す。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	地域の特長を広くPRするため、各地域においてフィルムコミッションとDMOを組み合わせた取組が積極的に展開されている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 泉南市における休日滞在人口 計算式:	人	本市総合戦略において、地域経済分析システム(Resas)における本市休日滞在人口率を数値目標として掲げているため。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位		H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
① 泉南市における休日滞在人口	人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	地域経済分析システムを活用
		実績値	130,000	130,000	130,000	—	—	
		達成率	81.3%	81.3%	81.3%			
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方針
1	観光振興事業	泉南市における休日滞在人口	人	130,000	130,000	—	15,581	24,388	22,248	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						15,581	24,388	22,248			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	フィルムコミッション活動を展開し、誘致を実現することによって、本市の認知度を向上させ、多彩な観光事業の展開へ結びつける。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	本市における交流人口は、ここ数年変化しておらず、活況を呈する関西国際空港のインバウンドを的確に取り込めていない。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	フィルムコミッション事業の展開は、市民(観光協会、事業者等)と行政が適切な役割分担をもって進めることが肝要であり、今後も補助事業において進めることが適切。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	国の観光立国に向けた取組に沿った事業を進めるため、本市観光協会が主体となりフィルムコミッション活動を推進する必要がある。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	観光事業の実施主体は、市民(観光協会、事業者等)であり、とりわけフィルムコミッション活動は観光協会と行政の適切な役割分担が必要であり、その活動を推進することによって、観光協会の能力向上に繋がる。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	フィルムコミッション活動は、観光協会と行政の適切な役割分担が必要であり、適切に連携してPRしていく必要がある。また、大阪府全域を対象としてフィルムコミッション活動を展開している大阪観光局との連携を模索すべき。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	大阪観光局のフィルムコミッション部会との連携を進める。 観光協会において、市内の観光資源の発掘と磨き上げを実施する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	大阪観光局と連携したフィルムコミッション活動を展開する。 フィルムコミッション活動に効果的な観光資源のメニュー作りを行う。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	メニューを基に積極的なプロモーション活動を展開する。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	C	本市の魅力の発信と認知度の向上を目指している本施策について、施策達成に向けた情報発信と関係機関との連携による働きかけについて継続して進められたい。	